

3. 用語解説

【1日当たりの学習時間】

大学設置基準が想定している、一般的な学期中の1日当たり総学習時間の算定は以下のとおり。

卒業要件=124単位、1単位=45時間=(授業1時間+関連する学習2時間)×15週

1学期で修得すべき単位=124単位÷4年間÷2学期=16単位

1学期の学習時間=16単位×45時間=720時間

1週間の学習時間=720時間÷15週=48時間

1日の学習時間(1週間を6日間で計算)48時間÷6日=8時間

【アドミッション・オフィス(AO)入試】

書類審査と面接等を組み合わせることによって、受験生の能力・適性、学習に対する意欲や目的意識等を総合的に判定し、選抜する方法。

【インターンシップ】

学生が在学中に、企業等において、自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと。

【オフィスアワー】

授業内容等に関する学生の質問等に応じるための時間として、教員があらかじめ示す特定の時間帯。

【外部評価/第三者評価】

外部評価は、学校の教育活動等について、学校側が選定する学外者から評価を受けること。一方、第三者評価は、第三者的立場にある評価機関等が実施する評価のこと。

【学術情報ネットワーク(SINET)ノード】

全国の国公立大学や研究機関等を高速通信回線で接続する教育研究用の情報通信ネットワーク。海外の研究情報ネットワークとも連携している。ノードとは、その接続拠点のこと。

【キャップ(CAP)制】

学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するよう、1年間又は1学期に履修登録できる単位数に上限を設ける制度。

【国公立大学を通じた大学教育改革の支援(教育GP/特色GP/現代GPなど)】

国公立大学を通じた競争的環境の下で、特色・個性ある優れた取組を公募により選定し、支援を行う文部科学省の事業。この事業には、質の高い大学教育推進プログラム(教育GP)、特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)、現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)、大学院教育改革支援プログラム、専門職大学院等における高度専門職業人養成教育推進プログラム、地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)等が挙げられる。

【サバティカル制度】

教員が異なる機関等において教育研究を行うなどのために、一定期間、休暇をとることができる制度。

【GPA制度】

授業科目ごとの成績評価に対して、G P（グレードポイント）を付し（例えば、5段階（A、B、C、D、E）の成績評価に対して、それぞれ4、3、2、1、0のG P）、この単位当たりの平均を出し、その一定水準を卒業などの要件とする制度。G P Aは、Grade Point Average の略。

【スタッフ・ディベロップメント（SD）】

事務職員や技術職員等を対象に、管理運営や教育・研究支援までを含めた資質を向上させるための組織的な取組の総称。S Dと略して称されることもある。

【中期計画】

国立大学法人等が、文部科学大臣が示す中期目標を達成するために作成する計画。中期計画を作成若しくは作成した中期計画に変更を加える場合には、文部科学大臣の認可を受けなければならない。公立大学法人については、設立地方公共団体の長が指示する中期目標を達成するために当該公立大学法人が作成しており、計画の作成又は変更に当たっては、設立地方公共団体の長の認可を受けなければならない。

【中期目標】

国立大学法人等が6年間で達成すべき業務運営に関する目標。文部科学大臣は、当該国立大学法人等に示すとともに公表している。公立大学法人については、6年間の中期目標を設立地方公共団体の長が当該公立大学法人に指示するとともに公表している。

【チューター制度】

主として、外国人留学生に対し、日本人学生が日本語の指導、学習や生活上の様々な支援を行う制度。

【長期履修学生制度】

職業を有している等の個人の事情に応じて、大学の定めるところにより、学生が大学の修業年限を超えた一定期間にわたって計画的に教育課程を履修し卒業することを認められる制度。平成14（2002）年度から実施。

【テニュア・トラック制】

任期制等により一定期間、若手研究者が自立した研究者としての経験を積んだ上で、厳格な審査を実施し、その間の業績や教員・研究者としての資質・能力が高いと認められた場合には、任期を付さない職を与える仕組み。

【TOE I C】

アメリカのE T Sが開発した英語によるコミュニケーション能力を測定するためのテスト。T O E I Cは、Test of English for International Communication の略。

【T O E F L】

アメリカのE T Sが開発した、アメリカやカナダへ留学を希望する外国人のための英語の学力テスト。T O E F Lは、Test of English as a Foreign Language の略。

【日本技術者教育認定機構（JABEE）】

技術系学協会と密接に連携しながら、大学など高等教育機関で実施されている技術者教育プログラムが、社会の要求水準を満たしているかどうかの審査・認定を行う非政府団体。

【PBL】

実社会で役に立つプロジェクト課題を学生にグループ単位で与え、その課題を達成するためのアイデアの創出、計画立案、実現等を学生自身に遂行させることにより、学生の学習意欲、知識の活用能力、計画立案・遂行能力、ディベート能力、プレゼンテーション能力、組織運営能力等の向上を図るための学習・教育の方法。Problem - based Learning 又は Project - based Learning の略。

【ファカルティ・ディベロップメント（FD）】

教員が授業内容・方法を改善し、教育力を向上させるための組織的な取組の総称。FDと略して称されることもある。その意味するところは極めて広範にわたるが、具体的な例としては、教員相互の授業参観の実施、授業方法についての研究会の開催、新任教員のための研修会の開催などを挙げることができる。

【フィールド型授業】

学生の学習効果を高めるための野外における調査など教室や実験室外における実践的な授業。

【ラーニング・コモンズ】

複数の学生が集まって、電子情報も印刷物も含めた様々な情報資源から得られる情報を用いて議論を進めていく学習スタイルを可能にする「場」を提供するもの。

【履修系統図】

学生に身につけさせる知識・能力と授業科目との間の対応関係を示し、体系的な履修を促す体系図、カリキュラムマップ、カリキュラムチャート等。